



平成26年9月25日

## 岡山県受託事業 おかやま妊娠・出産サポートセンター開設 妊娠・出産等に関する悩みに助言や情報提供

### <概要>

岡山大学大学院保健学研究科は10月1日、岡山県の受託事業として、「おかやま妊娠・出産サポートセンター：妊娠・安心相談室」を開設し、相談業務を開始します。

助産師、産婦人科医、臨床心理士、社会福祉士などが、妊娠・出産等に関する医学的、心理的、経済的悩みを持つ方からの相談に応じ情報提供をします。一人で抱え込まないで気軽に相談して頂ければ、相談員と一緒に考えます。

岡山大学大学院保健学研究科では、2004年から「岡山県不妊専門相談センター：不妊・不育ところの相談室」を開設しており、「おかやま妊娠・出産サポートセンター」も、同センター内で、開所時間を変えて開所します。両センターが連携することで、**妊娠前から子育てまで、総合的な支援**を行います。

核家族化などに伴う家族機能の低下、地域で子どもを育てる意識の希薄化などにより、子育ての孤立や育児不安を抱えている親が増加しています。また、子どもへの虐待の相談件数も増加しており、大きな社会問題となっています。岡山県における「飛び込み分娩」や「妊娠中のDV被害」の調査でも、その背景には、未婚、未成年、貧困など種々のリスク因子がかくれていることがわかっており、このような社会的ハイリスク妊産婦には、妊娠前から妊娠期、そして、子育てへと切れ目のない支援が必要です。このため、岡山大学大学院保健学研究科では、岡山県の受託事業として、「おかやま妊娠・出産サポートセンター：妊娠・安心相談室」を開設し、2014年10月1日から、相談業務を開始します。

本センターは、不妊症や不育症（流死産を繰り返す状態）の方々を支援している「岡山県不妊専門相談センター：不妊・不育ところの相談室」（岡山大学病院内に2004年に開設）と同じ場所に開設され、時間帯を変えて、月、火、水、金曜日の9:00～12:00に開所されます。

来所での相談（個室、要予約）に加えて、電話での相談も、月、火、水、金曜日の9:00～12:00に受け付けます（相談専用電話：086-235-7899）。また、メールでの相談は24時間受け付けています（[ninshin@okayama-u.ac.jp](mailto:ninshin@okayama-u.ac.jp)）（電話番号、メールアドレスは、不妊専門相談センターとは別）。

本センターでは、助産師、産婦人科医、臨床心理士、社会福祉士などがチームを組み、妊娠・出産等に関する医学的、心理的、経済的悩みを持つ方からの相談に応じ、各方面への連携や社会的資源の活用のための情報を提供。さらに、相談の内容等を分析し、思春期の子どもから生殖可能年齢の人々まで広く妊娠・出産に関する正しい知識の普及を行う予定です。

岡山県不妊専門相談センターと連携することで、妊娠前から子育てまで切れ目のない総合的な支援を行います。また、岡山県では、県行政、産婦人科医会、岡山大学が協力し、全国初の「妊娠中からの気になる母子支援」連絡システムを構築しています。本センター事業にも、三者の連携が活かされます。

センターHP URL：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ninshin/>

### <お問い合わせ先>

岡山大学大学院保健学研究科

教授 中塚幹也

（電話番号）086-235-6538

（FAX番号）086-235-6538